



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 シライ電子工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6658 URL <https://www.shiraidenshi.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五藤 学
問合せ先責任者(役職名) 管理本部 本部長 (氏名) 深山 元太 (TEL) (077)586-1333
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	20,765	△7.8	1,860	△3.2	1,812	△2.6	1,388	2.6
2024年3月期第3四半期	22,528	△14.8	1,920	△18.8	1,860	△15.0	1,353	△28.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,535百万円(△3.1%) 2024年3月期第3四半期 1,585百万円(△26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	92.09	91.37
2024年3月期第3四半期	96.85	96.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	19,521	9,097	46.0
2024年3月期	19,696	7,930	39.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 8,980百万円 2024年3月期 7,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	0.6	2,400	4.0	2,200	1.8	1,500	0.9	99.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	15,116,000株	2024年3月期	15,116,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	16,713株	2024年3月期	57,273株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	15,080,113株	2024年3月期3Q	13,971,838株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により予想と異なる可能性がございます。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、2025年2月下旬に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより、緩やかな回復基調が見られました。世界経済においては、米国の第2次トランプ政権による影響、中東情勢の緊迫化、中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のなか、当社グループにおきましては自動車需要回復の遅れや在庫調整等により、車載関連の分野において受注が低調に推移しました。また原材料・エネルギー価格の高騰によるコスト高の影響を受けております。厳しい経営環境ではあるものの、ASEANやインドといった成長市場への進出や、顧客ニーズに応じた成長分野への展開を積極的に推進し、順調に進捗しております。また、中期経営ビジョンに掲げた「盤石な経営基盤を築き、中長期的に安定した経営と未来の成長を実直に実現！」に向けて、グループ全体が一枚岩となって諸施策を実行しております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は20,765百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業利益は1,860百万円（前年同四半期比3.2%減）、経常利益は1,812百万円（前年同四半期比2.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,388百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(プリント配線板事業)

プリント配線板事業につきましては、車載関連の分野で主要顧客との生産調整の影響を受け、セグメント売上高は20,261百万円（前年同四半期比8.1%減）となりました。また、原材料・エネルギー価格の高騰などにより、セグメント利益は1,870百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

(検査機・ソリューション事業)

検査機・ソリューション事業につきましては、新型コロナウイルスによる営業活動制限が解消され、国内外の受注獲得が堅調に推移したことにより、セグメント売上高は442百万円（前年同四半期比9.7%増）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期はセグメント損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、19,521百万円（前連結会計年度末比175百万円減）となりました。その内訳は、流動資産が10,926百万円（前連結会計年度末比72百万円増）、固定資産が8,594百万円（前連結会計年度末比248百万円減）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金342百万円、その他67百万円の増加となり、現金及び預金397百万円の減少となったこと等によるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産85百万円、投資その他の資産160百万円の減少となったこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、10,423百万円（前連結会計年度末比1,342百万円減）となりました。その内訳は、流動負債が8,078百万円（前連結会計年度末比273百万円減）、固定負債が2,344百万円（前連結会計年度末比1,069百万円減）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債につきましては、短期借入金782百万円の増加となり、1年内返済予定の長期借入金680百万円、賞与引当金223百万円の減少となったこと等によるものであります。固定負債につきましては、長期借入金1,226百万円の減少となったこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、9,097百万円（前連結会計年度末比1,167百万円増）となりました。主な増減要因は、利益剰余金が997百万円、為替換算調整勘定が128百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,993	1,595
受取手形及び売掛金	4,307	4,649
電子記録債権	1,294	1,336
製品	1,777	1,714
仕掛品	733	818
原材料及び貯蔵品	486	485
その他	259	326
流動資産合計	10,853	10,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,942	3,754
機械装置及び運搬具（純額）	2,125	2,084
その他（純額）	1,625	1,768
有形固定資産合計	7,692	7,607
無形固定資産	167	165
投資その他の資産		
その他	990	830
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	982	822
固定資産合計	8,842	8,594
資産合計	19,696	19,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,803	2,751
電子記録債務	761	893
短期借入金	964	1,747
1年内返済予定の長期借入金	1,545	864
未払法人税等	215	184
賞与引当金	669	445
製品保証引当金	—	14
その他	1,392	1,177
流動負債合計	8,352	8,078
固定負債		
長期借入金	2,786	1,559
退職給付に係る負債	386	399
資産除去債務	151	151
その他	90	233
固定負債合計	3,414	2,344
負債合計	11,766	10,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	366	366
資本剰余金	3,090	3,097
利益剰余金	4,700	5,697
自己株式	△26	△7
株主資本合計	8,130	9,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	2
為替換算調整勘定	△331	△203
退職給付に係る調整累計額	25	27
その他の包括利益累計額合計	△294	△173
新株予約権	2	—
非支配株主持分	91	117
純資産合計	7,930	9,097
負債純資産合計	19,696	19,521

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	22,528	20,765
売上原価	18,121	16,495
売上総利益	4,406	4,269
販売費及び一般管理費	2,485	2,409
営業利益	1,920	1,860
営業外収益		
受取利息	10	1
受取配当金	0	0
為替差益	140	92
補助金収入	25	6
その他	37	13
営業外収益合計	214	115
営業外費用		
支払利息	199	93
持分法による投資損失	57	64
その他	17	5
営業外費用合計	274	162
経常利益	1,860	1,812
特別利益		
固定資産売却益	38	0
特別利益合計	38	0
特別損失		
固定資産除却損	6	10
製品保証引当金繰入額	—	14
特別損失合計	6	24
税金等調整前四半期純利益	1,892	1,788
法人税、住民税及び事業税	443	312
法人税等調整額	99	67
法人税等合計	543	380
四半期純利益	1,349	1,408
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,353	1,388
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△9
為替換算調整勘定	158	150
退職給付に係る調整額	4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	69	△15
その他の包括利益合計	235	127
四半期包括利益	1,585	1,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,582	1,509
非支配株主に係る四半期包括利益	2	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	プリント 配線板事業	検査機・ ソリューション 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	22,054	398	22,453	74	22,528	—	22,528
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4	4	118	123	△123	—
計	22,054	402	22,457	193	22,651	△123	22,528
セグメント利益 又は損失(△)	1,925	△5	1,919	△7	1,912	8	1,920

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり運送業等を含んでおります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	プリント 配線板事業	検査機・ ソリューション 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	20,261	437	20,698	66	20,765	—	20,765
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	5	5	121	127	△127	—
計	20,261	442	20,703	188	20,892	△127	20,765
セグメント利益 又は損失(△)	1,870	13	1,884	△27	1,856	3	1,860

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり運送業等を含んでおります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	820百万円	672百万円